

八幡平市

大人顔負けの好取組で会場をわかせる



八幡平市誕生を記念して開催された、西根・松尾・安代学童相撲大会

八幡平市誕生を記念して、第25回西根・松尾・安代学童相撲大会は9月18日、平館八幡宮相撲場で行われました。大会には男女107人が出場。個人戦は、性別・学年別にトーナメント方式で行われたほか、団体戦には12チームが出場し、優勝を目指しました。土俵では大人顔負けの好取組の連続で、応援に駆けつけ

た人たちをわかせました。大会の成績は次のとおりです。

■団体戦 (敬称略)

①大更小(平中高輝、田之岡篤礼、遠藤稜騎、藤川梓之介、遠藤真仁) ②田頭小(岩井寿哉、佐藤信之、清水畑央、伊藤洗稀、本堂弘樹) ③寺田スボ少A(上山陽平、遠藤圭吾、遠藤貴哉、高橋隆生、福士拓也)

■個人戦 (敬称略)

▼4年生以下女子の部
①遠藤真那美(寺田) ②津志田千愛(平館) ③伊藤瑠那(田頭)、高橋志帆(平館)

▼5・6年生女子の部
①清水畑央(田頭) ②佐々木栞(平館) ③高橋由梨奈(渋川)、工藤つくし(平館)

▼4年生男子の部
①土屋佳貴(安代) ②岩井寿哉(田頭) ③上山陽平(寺田)、伊藤岬樹(平笠)

▼5年生男子の部
①遠藤圭吾(寺田) ②田之岡篤礼(大更) ③遠藤貴哉(寺田)、藤本豪(安代)

▼6年生男子の部
①福士拓也(寺田)、②遠藤真仁(大更) ③田村祥司(大更)、千葉知成(平館)

黄色い羽根に込めた交通安全の願い

歩行者や自転車の交通事故を予防しようと9月22日、市内の主要交差点などで、黄色い羽根を配り、交通安全を呼び掛けました。

これは、秋の全国交通安全運動(9月21日〜30日)の期間に合わせて実施されました。当日は警察や市関係者、地域の交通安全協会、交通安全母の会などが参加。通勤や通学する市民の胸に黄色い羽根を付け、交通ルールの徹底を呼び掛けました。



交通安全を願い、黄色い羽根をつける母の会の会員

情報発信基地・岩手日報社八幡平支局が開局



支局開設式で玉ぐしを捧げる国井八幡平支局長(中央)

八幡平市が誕生した9月1日、岩手日報社は八幡平支局(国井勝利支局長)を大更に開設しました。県内17番目の支社局となります。

開設式は同支局で行われ、村田源一朗同社会長、三浦宏社長など関係者20人が出席。来ひんの佐々木正四郎市長職務執行者も出席しました。

同支局は、八幡平市全域を担当区域とする報道拠点として、地域の情報などをきめ細く発信します。

西根

平館八幡宮の例大祭と平館おまつりつこワッショイは9月18日、同神宮などで開かれました。

例大祭では、児童らが岩手山神社山伏神楽を奉納し、実りの秋に感謝しました。

同神宮内では屋台がズラリと並び、秋祭りのにぎわい。地中に埋められた番号札で、豪華景品が当たる「宝探し」や、伝説の福もち拾いなどのイベントも多彩に行われ、訪れた人たちを楽しませました。



実りの秋に感謝し、岩手山山伏神楽を舞う児童たち



スポーツを楽しみながら、仲間と汗を流す参加者

多くの市民がスポーツに親しみ、健康な体づくりに役立ててもらおうと、西根地区スポーツ・レクリエーション大会は9月25日、西根地区体育館で開かれました。

当日は、あいにくの雨でしたが、市民約1000人が参加しました。種目は「キャッチング・ザ・スティック」「一斉ジャンプ」「バンブータイムレース」の3種目。参加者は世代間の交流も楽しみながら、心地よい汗を流しました。

実りの秋に感謝して平館八幡宮例大祭

第25回にしね産業まつりと第9回JAふれあいまつりは9月3、4の両日、西根地区体育館などで行われました。

両まつりの合同開催は今年で3回目。会場には2日間で約6千人が詰めかけました。

初日は、開会式に続いて、日ごろのストレスを解消しようとして、大声大会が開かれました。また、八幡平市にちなんだ〇×ゲームやにしねさんさ踊りも披露され、新市誕生の機運を盛り上げました。

2日目は、大きな鍋で作られた約8千食分のひつつみ汁が無料で振る舞われ、秋の味覚を堪能しようとして、たくさんの人が行列を作りました。

恒例のもちまきには、たくさんの人が集まり、一つでも多く拾おうと、帽子や袋を使って、まかれたもちをキャッチ。芸能大会では、西根中学校の吹奏楽部が演奏を披露したほか、八幡平市の特産品販売コーナーも軒を並べ、来場者の人気を集めました。

恒例のもちまきも大盛況、にしね産業まつり

スポーツに親しみ、心地よい汗を流す



2日間にわたり開催された、にしね産業まつりとJAふれあいまつり。恒例のもちまきには、たくさんの人が訪れ、一つでも多くのもちを拾おうと、会場は活気があふれました

松尾

松野小が創立から130周年を迎える

松野小学校(加藤常明校長、児童150人)は、本年130周年を迎え、9月18日に記念式典と祝賀会が開かれました。式典や祝賀会には、児童や保護者、関係者など400人ほどが出席しました。

同校の始まりは、明治8年9月松尾尋常小学校の開校です。翌年には野駄尋常小学校が創立され、同41年に両校が

統合し、松野尋常小学校として歩み始めました。輩出した卒業生は7000人を超えます。式典では、児童たちが130周年を迎えた喜びと、先輩たちがつくり上げた伝統や文化に感謝の気持ちを込めて、合唱などを披露しました。同校には、校旗が贈られたほか、卒業生を講師に迎える記念授業も計画されています。



松野小学校の創立130周年を記念して開催された式典では、児童たちが先人たちに感謝を込めて、合唱などを披露しました

豊作に太鼓判、秋まつりに山車練り歩く

五穀豊穡(ごこくほうじょう)などを願う伊那那(いなな)伊沢神社の祭典は9月19日、野駄地区にある同神社の境内などで開かれました。

午前9時、小学生の太鼓打ちを乗せた山車が同神社を出発。威勢のよい掛け声とともに地区内を練り歩き、祭りが始まりました。各家庭には、地区内の女性がふんした踊り手が、縁起のよい大黒舞を舞い、家内安全などを祈願しました。この後、境内では盆踊りも行われ、一日中にぎわいました。



小学生の太鼓打ちを乗せた山車が地区を練り歩きました

大自然の中で名車とフォークソング満喫

往年の名車とフォークソングで八幡平をPRしようと「ノスタルジックカー・in 八幡平」は9月24、25の両日、さくら公園イベント広場などで開かれました。

名車の展示会は今年で7回目。会場にはピカピカの車が、約150台展示されました。

今回は、フォーク歌手・小室等さんを招いてコンサートも開き、来場者は名車と名曲を楽しみました。



国内外の懐かしの名車が約150台展示されました

安代



心臓マッサージの方法を学ぶ受講者

安代町シルバー人材センターでは、シニアワークプログラム(S.P.事業)の一環として、救命講座を開催しました。この講座は、会員同士が安心して就業できる環境をつくることを目的に開催されたもので、約20人の受講者は、講師の盛岡中央消防署安代分署員による指導のもと、心肺蘇生法など救命に必要な応急手当の方法を学びました。講座終了後には、普通救命講習終了証が交付されました。

いざというときの応急手当の知識学ば

安比塗漆器工房に勤務する島川千世さん(28)、坂根雄心さん(24)、安代漆工技術研究センターで助手を務める金田理沙さん(26)、同センター研修生の野中昭美さん(27)による初の展覧会「漆楽園・若手4人による漆のかたち」は、9月5日から11日まで盛岡市菜園のギャラリィラヴィで開かれました。



坂根雄心さん(写真)は「一人でも多くの人に漆を楽しんでもらえれば」と話していました

若き漆工芸家4人が漆の魅力伝える

限に生かした作品は、来場者を魅了していました。

初秋の安比高原たすきでつなぐ42・195^キ

今年で12回目の開催となる「あつぴりレーマラソン2005」は9月11日、安比高原で開催されました。

一般、男子、中学生、小学生、ファミリー、職場の6部門に県内外から216チーム、約1800人が参加。選手は、初秋の安比高原で1周2^キの周回コースをチームで力を合わせてたすきリレーし、4時間30分の制限時間以内のフルマラソン完走を目指し力走し

ました。各部門の優勝チームとタイムは次のとおりです。

■一般	久慈養護RC	2時間29分37秒
■男子	男塾米酒線	2時間21分12秒
■中学生	三ツ石烈火	2時間35分30秒
■小学生	十和田スビードスターズ	3時間9分3秒
■ファミリー	ファミリランナーズ	2時間05分21秒
■職場	TEAM AM	2時間21分

AM 結局究極強脚健脚脚脚・犬(改)



制限時間内のゴールをめざし、たすきをリレーする「安代スポ小ブルー・インパルス」(ゼッケン308)